

アセスメント

提供事業者
アセスメント実施者

歯科衛生士，看護職員，言語聴覚士等



月1回のモニタリング
3カ月後に事後のアセスメント

摂食・嚥下機能評価(二次アセスメント)

1. 反復唾液嚥下テスト(RSST)

30秒間における空嚥下の回数

2. 口腔器官の巧緻性, 運動速度評価

オーラルディアドコキネシス

10秒間における「パ」「タ」「カ」の発音回数

3. 開口量

2横指以上, 1横指以上2横指未満, 1横指以下

4. うがい

口を閉じてできる. 水を含む程度, できない

咀嚼力判定ガム



唾液湿潤度検査紙



提供場所

市町村保健センター



健康教室



標準的なプログラム内容

小集団アプローチ

1. 深呼吸（腹式呼吸と口すぼめ呼吸）
2. 全身のストレッチ
ex)足の体操 腰の体操 肩の体操
3. 手指の体操
4. 顔の体操
ex) 顔じゃんけん
5. 舌・口唇の体操
6. 発声訓練
7. 唾液腺マッサージ
8. 嚥下訓練
9. 深呼吸

主に介護職員が担当

Ⅲ. 新予防給付

目 的

軽度要介護者の重度化を予防し、自己実現の支援をする。

予防重視型システムの構築。

平成18年度からの歯科診療所の役割

介護認定審査会

新予防給付

地域包括支援センターにて

1. 一次アセスメント

2. ケアプラン案作成

3. 専門職種の召集

4. ケアプラン確定

要治療

診療情報提供

診療所

精査

治療

指定介護予防事業所

口腔保健センター

新予防給付サービスの提供

提供事業者

歯科衛生士，看護師，言語聴覚士等

提供場所

指定介護予防事業所（**通所介護**，**通所リハ**等）

アセスメント→プラン作成→プラン決定→事業提供
→アセスメント→地域包括支援センターへ報告

グループ訓練



頬ストレッチ



振動刺激訓練



デイサービス



菊谷武 提供

各プログラムとの相互関係



摂食機能訓練室

プラットホームマットでの理学療法



ハイローテーブルでの 直接訓練



マシンによる起立訓練



口腔機能の向上の成立要件

食べる楽しみ

低栄養予防

口腔機能の向上
(摂食・嚥下機能向上)

窒息・誤嚥予防

運動器の機能向上

●ゴロツケが食ぶたいなあ

健康第一!!

安内安
りますように

ハレますように
けますように

歳で長生き
山吹まきまき

若川林

口腔機能の向上についての研究班

石井みどり（社団法人日本歯科医師会常務理事）

○植田耕一郎（日本大学歯学部摂食機能療法学講座教授）

大原里子（東京医科歯科大学歯学部附属病院歯科総合診療部講師）

菊谷 武（日本歯科大学歯学部附属病院口腔介護・リハビリテーションセンター長）

北原 稔（神奈川県茅ヶ崎保健福祉事務所課長）

小柴秀世（神奈川県大和保健福祉事務所保健福祉課副技官）

才藤栄一（藤田保健衛生大学医学部リハビリテーション医学講座教授）

辻 哲也（県立静岡がんセンターリハビリテーション科部長）

白田千代子（中野区北部保健福祉センター）

平野浩彦（東京都老人医療センター歯科口腔外科医長）

米山武義（米山歯科クリニック）

（○：主任研究者 五十音順、敬称略）

【研究協力者】

青柳公夫（愛知県歯科医師会）

足立三枝子（府中市医療センター）

井上恵司（東京都歯科医師会）

牛山京子（日本歯科衛生士会監事）

斉藤真理（医療法人社団三喜会 鶴巻訪問看護ステーション）

鶴巻訪問看護ステーション居宅介護支援センター長）

角町正勝（長崎県歯科医師会）

寺岡加代（東京医科歯科大学口腔健康推進統合学講座教授）

鳥山佳則（茨城県保健福祉部保健予防課技佐）

西脇恵子（日本歯科大学歯学部附属病院口腔介護・リハビリテーションセンター）

古川静子（デイサービスセンター神楽坂 静華庵）

安井良一（重症心身障害児施設子鹿学園）

（五十音順、敬称略）